

プロコンサルタントの育成④

一般社団法人日本経営者。経営コンサルタント士会が特長のある養成講座を目指すうえでは必要な座を開設していること。資格だと考える。しかし、8日の森田喜芳氏の「資格」だけは原稿で説明があった。第5回のプロコンサルタント育成講座が2016年4月9日から始まる。既に4回を実施している他に類を見ない講座だ。

弊会では、経営士養成講座を修了すると「経営士」の資格が付与され

その協力してもらおう企業からは決算申告書ベースの財務諸表3期分を提出してもらい、資料上の分

は企業と機密保持契約をとり交わし、同時に講師・受講生にも誓約書の取

業も数点の課題が挙げられた。実際の訪問日は企

業が保有する「真の強み」を診断を受けてもらった。企業診断では、どの企

業が稼働している金曜日。この講座は13年6月から始めている。第1回目の企業は金属切削加工業、第2回目の企業は精密板金加工業、3回目は業務用冷凍スイーツ加工業、4回目は精密金属

経営士の提言

実践舞台、企業診断で腕磨く／真の強み無形資産探す

業が稼働している金曜日。この講座は13年6月から始めている。第1回目の企業は金属切削加工業、第2回目の企業は精密板金加工業、3回目は業務用冷凍スイーツ加工業、4回目は精密金属

診断後土・日曜日ではヒアリングや工場診断の結果から抽出された問題に対してグループ討議をし、内容を定める作業となる。これを2週実施後、企

業が保有する「真の強み」を診断を受けてもらった。企業診断では、どの企

業も数点の課題が挙げられた。実際の訪問日は企

業が稼働している金曜日。この講座は13年6月から始めている。第1回目の企業は金属切削加工業、第2回目の企業は精密板金加工業、3回目は業務用冷凍スイーツ加工業、4回目は精密金属

診断後土・日曜日ではヒアリングや工場診断の結果から抽出された問題に対してグループ討議をし、内容を定める作業となる。これを2週実施後、企

容入ペースなど制約があり難しいことが現実にあるためだ。

実践的なヒアリング内容はまず経営者の考え方（経営理念・経営方針・将来への抱負）だ。ヒアリング項目を決める際には、この企業の業界、位置づけ、外部から入ってくる情報、など事前調査をチームで実施しておくことが前提となる。

なお更なる詳細は「プロコンサルタント育成講座」を検索してほしい。